



佐高

スーパー グローバル ハイスクール

SGH通信 2018

No. 4 (平成30年5月11日発行)

高1SGHリレー講座

フィールドワーク入門～羅針盤となる仮説をつくろう～

東洋大学 国際学部 国際地域学科 助教 柏崎 梢

平成30年4月26日(木)、高校1年生は前回の課題研究オリエンテーション②に続いて、東洋大学の柏崎先生をお迎えし、フィールドワーク入門をワークショップの形で実施しました。前回のオリエンテーションはKJ法を使い、ブレインストーミングでアイデアをたくさん出し、それを分類して計画を立てていくものでしたが、今回はすべてのグループがポスターセッションを行えるようにしたため、前回よりも時間の制限がきついものとなりました。そのなかでも、生徒たちは自分たちの考えを上手に協働で作りあげていきました。柏崎先生からの「xをyすればzになる」を考えて仮説を立てるよとの助言のもと、「佐野の地域資源を活用して移住者または外国人観光客を増やす」をテーマに、アイデアを、構築していきました。地域資源として、空き家の利用や子育てしやすい地域にするなど移住者を増加させる仮説を立てたグループがあったり、ラーメンやイモフライなどの食に目を付け、ラーメンのテーマパークを作り外国人観光客を増やそうと計画するなどさまざまなものが出ました。前回のオリエンテーションで行った準備時間の半分しかないなかで生徒たちは今後の課題研究の進展を期待させてくれる活発な活動をしていました。



当日の流れ

13:55-14:15 イントロダクション

14:15-14:50 グループワーク

「佐野の地域資源を活用して移住者または外国人観光客を増やす」をテーマに、グループとして提案を行うためにどのような調査をする必要があるかを考える。

14:55-15:25 ポスターセッション

グループメンバーを2つにわけ、20分交代でポスターの説明を行う。

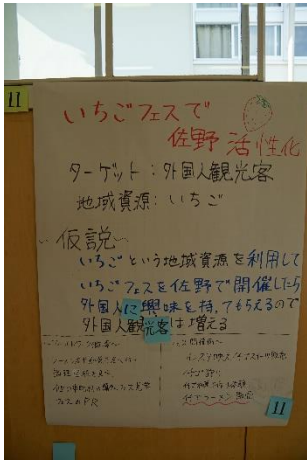
15:25-35 まとめ

評価表を記入する。



生徒評価 **1位** 20票
11班

(岡、深津、奥村、藤澤、出井、友野、秋山、小暮)

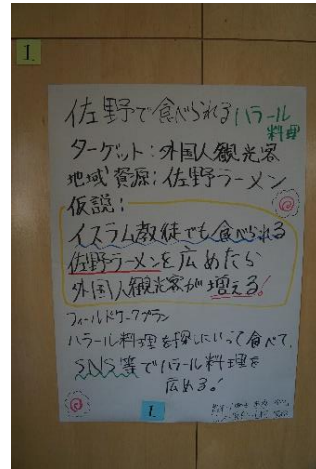


いちごフェスで佐野活性化

いちごに着目して、プラスラーメンという発想の斬新さにひかれた。また、インスタ映えするいちごスイーツの具体例やいちご狩り、いちご和菓子作り体験など、具体的ないちごへのアプローチの仕方があった。

生徒評価 **2位** 19票
1班

(山本、島田、関谷、山根、小和田、茂木、岡田、西巻)

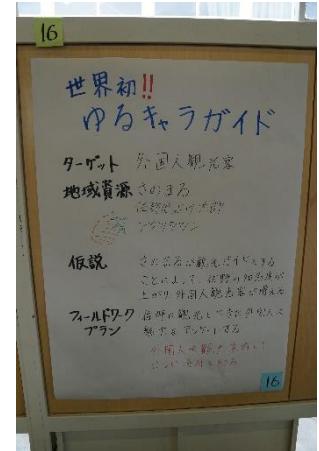


佐野で食べられるハラール料理

これからイスラム教の人が増えていく。そして、イスラム教の人でも食べられるよう佐野ラーメンをハラールフード化することによって外国人観光客を増やせるという考えがとても面白いし、興味を持った。

生徒評価 **3位** 14票
16班

(田村、飯島、新井、成井、青柳、須永、上岡、回谷)



世界初!! ゆるキャラガイド

もともと知名度のあるさのまるが観光ガイドをすれば、外国人観光客も増えると思った。また、子供から大人まで楽しめる。もしもこの活動が実現したら、さのまるだけでなく佐野の知名度も上がり、全国、世界的にも注目してもらえると思う。

生徒評価 **4位** 11票
6班

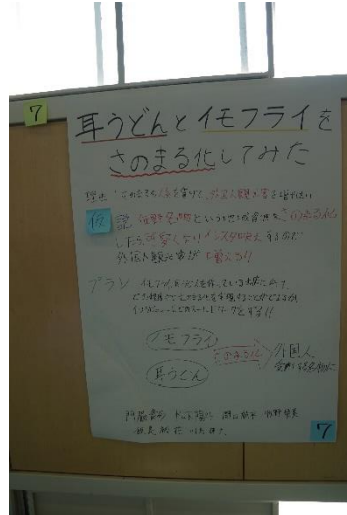
(金尾、三枝、丸山、小林、小川、新里、曾根原、飯野)



佐野に移住者を増やすためには?

生徒評価 **5位** 9票
7班

(牧野、門脇、松下、川島、岡田、新村、関口、飯島)



耳うどんとイモフライをさのまる化してみた

